

# 中国 5G 産業政策とデジタル社会の持続的発展

華金玲 Jinling HUA

Keywords : 5G 産業政策 政府 通信事業者 応用事例

## 1 目的

近年、第 5 世代移動通信技術システム (5G) に対する関心が高まっている。世界の携帯電話事業者が参加する通信事業者協会である GSMA は、5G が「大きな市場牽引力」であり、5G の普及に伴い、VR、AI、Bigdata や自動運転等の関連技術の開発が進み、これらのイノベーションにより経済の成長や産業の新陳代謝が促進されるとし、2020 年 1 月 20 日時点で 39 カ国 79 事業者が 5G サービスを商用化しているため、2025 年には接続数が 12 億に達するとも発表している。中国の 5G については 2019 年 11 月 1 日より中国北京、上海などにて商用化を開始し、多分野にてサービス展開してきている。そこで本研究は、中国 5G を取り上げ、その諸動向から今の中国 5G の実態を調査分析し、2020 年初頭における中国情報通信産業の今を構造的に明らかにしようとする。

## 2 方法

本研究では、これまでの 5G 産業政策と今のサービス状況、応用事例を整理する。2013 年以来一連の 1) 5G 国家政策による推進過程と産業政策、2) 周波数割り当て、3) 通信事業者のサービス提供状況を具体的に整理し、中国 5G の政策的指向性と、通信事業者間の政府企業間関係から現在中国 5G の展開体制について解析を試みる。また、サービス開始して半年になった今のサービス展開状況と主な応用事例も紹介する。

## 3 結果

これまでの中国 5G 産業政策は 3 つの段階にわたって形成されてきた。商業化まで 2013 年に始まり、中国工業情報産業部 (MIIT)、発展改革委員会 (NDRC) 及び科学技術部 (MST) よりの IMT-2020 推進組の結成によりスタートしている。2015 年までの初期段階では、主として通信技術の開発研究がメインであった。2015 から 2018 年迄の中期段階では国家規模の指針や方向性を示すものが続出し、技術的標準からネットワーク建設と応用に関する政策が多かった。2019 年には商業化の最終段階に入り、1 月から 5G の地方化戦略が打ち出し、6 月 6 日の三大通信事業者への 5G 免許交付によって 5G サービスの商業化準備を進めてきた。これまで 8 年間にわたる政策形成には一体どのような中国社会的背景があり、2019 年 11 月から 2020 年 5 月までの中国 5G サービスを以てその政策的評価を行う。

## 4 結論

日本も 2020 年 3 月 25 日より東京駅と大阪駅周辺、一部の地域から 5G サービスがスタートしている。移動通信システムは第 2、3 と 4、今の第 5 世代へと発展する中、国別の通信方式からようやく世界的に共通する方向性とユースケースが既に可能になったという技術的要素もあり、中国 5G サービスの成功要素と参考可能性を試みる。

### 【主要参考文献】

Shaw R., Kim YK, Hua J. (2020), Governance, technology and citizen behavior in pandemic: Lessons from COVID-19 in East Asia, in Progress in Disaster Science(2020)  
<https://doi.org/10.1016/j.pdisas.2020.100090>